





PR不足、会場の設置条件、会場の雰囲気、あるいは区民側のニーズの問題なのかその原因を正確に把握することも求められています。また、評価する側の体制についても、行政や参加者（受益者）の視点だけでなく、専門家等の第三者の視点を入れた評価の仕組みづくりが求められてくると考えています。

### ⑦今後の展望について

**最** 初にも述べましたが、区づくり事業の期間は、原則3年間であり、この事業も、いずれは、役所の手から離れて完全に民間主体の自主事業として独立するか（その場合、広い意味で採算がとれることが前提になりますが）、それとも全体的な事業として展開されるのか、社会的な意味合いを持っている事業だと思っています。そのため、来年度以降は、行政側の運営費を縮小し、今年度は委託事業として実施してきましたが、民間主体によるより個性のかつ自主的な事業展開が期待できる「補助金事業」にしたいと考えて

います。いずれにしろ、この区づくり事業をきっかけにして、幼稚園という民間の社会資源が、コミュニティの新しい公共空間として、子育て中の母親達の情報が行き交い、安心を得られる場となることで、新しい価値が付与され、横浜における子育ての社会化が、より一層、進むことを期待します。

### ⑧コメント

**区** 長はじめ上司の指導と、同僚の協力を得て瀬谷区子育て支援事業の新しい試みを出発させることができました。少子高齢社会にあつて、介護の社会化と同様、子育ての社会化（瀬谷区の運営方針は「子育てバリアフリー」）も声高く主張する必要性を強く感じています。また、区の機能強化が言われていますが、こうした、社会性の強い子育て支援事業は、もつと身近な場所で多くの地域に定着させられるような仕組みがほしいと思います。



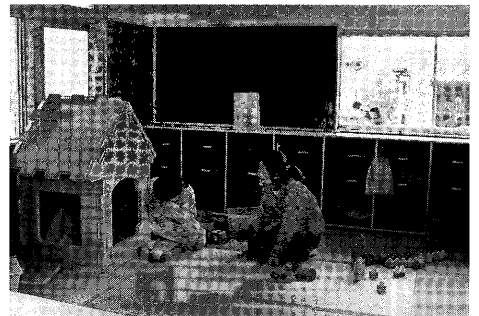
子育てサポーターが常駐しています。  
スタッフ「そろそろ始まる時間だわ」



ママ「みんなでホッとしています。」  
ボク「今は遊びたい。」



ママ「ハイハイからヨチヨチの時期、これだけ広い場所は感激です。」



ボク「このお家大一好き！」  
ママ「今日、給食食べて行こうかなー!？」

※子育て支援者及び母子訪問指導員

